

平成23年度森の名手・名人認定証伝達式が行われました

平成23年度森の名手・名人に認定された県内の2名に対し、(社)国土緑化推進機構から届いた認定証が10月21日、(社)岐阜県緑化推進委員会会長の藤埴 守岐阜県議会議長から伝達されました。



▲藤埴会長からお祝いの言葉を受けられる山田さん(左奥)と安江さん(左前)

【今年度森の名手・名人に認定されたみなさん】

◆ 森の恵み部門(シイタケ栽培)

本巣市外山…山田 多賀男 さん

59年間にわたり原木シイタケ栽培に取り組み、種菌生産、ジャンボシイタケ栽培、多孔栽培など新たな取り組みを展開し、卓越した技術とその普及について森の恵み部門において認められました。

◆ 森づくり(造林手(枝打ち))

加茂郡白川町上佐見…安江 正行 さん

50年間にわたり通直・無節の東濃松の優良材生産に取り組み、自ら考案した木登り機を使った枝打ち技術を確立するなど、森づくり部門において卓越した技術が認められました。

「森の名手・名人」とは

森を護り、育て、その恵みを活かして持続的に循環させていくことの重要性を広く訴え、社会一般が更に森林と向き合っていく気運を醸成することを目的に、「もりのくに・にっぽん運動」が平成14年11月に開始されました。

(社)国土緑化推進機構ではこの運動のリーディングプロジェクトとして、平成14年以降、森や山に関わる樵、マタギ、炭焼きなどの生業においてすぐれた技を極め、他の模範となっている達人について、その内容により「森づくり」、「森の恵み」、「加工」、「森の伝承・文化」の4部門を設け、「森の名手・名人」として選定しています。

平成23年度
現在の認定状況

- 全国の認定者数…924名(本年度67名)
- 岐阜県の認定者数… 40名(本年度 2名)

※岐阜県の認定者数は、愛媛県の44名に次いで全国第2位となっています。



▲左から安江正行さん、藤埴 守会長、山田多賀男さん、森林政部長



▲伊自良湖から釜ヶ谷山を望む

「釜ヶ谷雨乞いの森」は山県市伊自良地域の北西に位置し、平成10年に開園した生活環境保全林です。名称は干ばつに悩まされた人々が天に雨を願った伝説にちなんで名付けられたもので、園内にはお釜を伏せたような山容で、標高696mの「釜ヶ谷山」がそびえ、山頂まで3コースの歩道があり、自然豊かな森の中を山登りできます。

あいにく今回の森林のたよりでは、山頂からの景色を紹介することはできませんでしたが、是非一度ご自分の足で冬の山の澄んだ空気を味わいながら山頂からの眺めを楽しまれてはいかがでしょうか。

釜ヶ谷雨乞いの森

森の楽園の紹介 21



■ お問い合わせ
山県市産業建設部 産業振興課
TEL 058112216830



▲歩道



▲案内看板

できます。ご家族やご友人と訪れてみてはいかがでしょうか。

また、近接する伊自良湖や伊自良キャンプ場では、春には湖畔のサクラ並木、夏には川遊び、秋には紅葉狩り、冬にはワカサギ釣りが楽しめます。四季を通して自然を満喫することができます。



▲伊自良キャンプ場

県内各地にある森の楽園を紹介していきます。

岐阜農林事務所 ● 木田卓也